



# 岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 3 年 6 月 29 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ タツノチカ ヲホ ヲシマップ サセジ ヲウインカイ  
団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会  
所在地 [Redacted]  
連絡先 [Redacted]  
フリガナ シ ヲウインカイ モリタニ トシキ  
代表者 役職・氏名 実行委員長 守谷 俊昭

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ① 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	竜之口学区防災マップ作成
事業実施小学校区・地区	竜之口学区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 4 回目    /    【平成 30 年度から】
課題	1. 自然災害が少ない地域で学区民の災害に関する意識が薄い。 2. 災害時の避難については会議等でいろいろ話し合いをしているが、急な自然災害が発生した場合、地域住民が敏速に避難行動ができる事が急務です。 3. 要支援等で町内会へ入会されていない人、特にアパートの入居者氏名、人数の把握は個人情報に関する問題点、その為学区全世帯の把握は困難な状態です。また、広報活動も同様に入居者の有無の確認すら困難な場合もあります、災害時(避難)の全世帯広報をどの様に活動するか苦慮しています。 4. 各家庭に配布されている岡山市発行のハザードマップが活用されていない。 5. 新型コロナウイルス感染症対策として小学校避難所へ地域住民が安全・安心して避難できる運営の体制を図る訓練が必要。
事業の目的	いざ災害が発生した時に地域の全住民が、最大限、安全にそしてより適正に避難活動ができることが重要であり、個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組みを作っていくことを目指すため、学区全体の共有実践資料として「竜之口防災マップ」の作成を行う。  具体的には、岡山市発行の最新ハザードマップを活用し住んでいる場所を認識し災害時の一時避難場所や二次避難所、危険区域や通行不可の可能性のある道路、子どもたちの通学路途上の危険箇所、新たに避難時に役立つ物、場所などを書き込み、また、子ども、高齢者に見て判りやすく最新の「避難情報・警戒レベル」を見直し記載、避難訓練や平常時の訓練など、突然の災害時に活用できるマップを作成する。

事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 携帯型マップ改定版の発行について 岡山市発行の最新のハザードマップを活用する。 ・地域の危険場所、避難時に役立つ物、場所（コンビニ・スーパー・自販機等）を再確認、避難所、避難場所、二次避難所などのデータを各町内会のより収集し、マップに落とし込む。 ・災害規模等により地域の事業所と連携を図り、防災訓練への参加の呼びかけ、避難場所として活用できる仕組みを進める。</li> <li>2. 最新の「避難情報・警戒レベル」をマップへ明記する。</li> <li>3. 学区全体へ「防災マップ」完成を案内。</li> <li>4. 各町内会、公共施設、必要施設などに配布。</li> <li>5. 2月20日（日）携帯型防災避難マップを活用した学区全体の防災訓練を実施。</li> <li>6. 地域の色々な集まりの時に「竜之口防災マップ」を活用し図上防災訓練を行う。</li> <li>7. ガイドラインに沿った新型コロナ感染対策を行い、会議・防災訓練等を実施。</li> </ol>
期待される成果・目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害情報、避難情報等を学区民が共有し、災害時に於ける避難が可能になる。</li> <li>2. 今後、このマップを活用して毎年、色々なテーマで防災訓練ができるようになる。</li> <li>3. 学区民全体の防災意識の高揚を図る事ができる。</li> <li>4. 学区は宅地開発も多くマップの定期的な見直しが必要となる。</li> <li>5. 携帯型マップのため持ち歩きが容易、地域住民へ「防災散歩」を呼びかけ。</li> </ol>
企画などの工夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 岡山市発行の最新のハザードマップを活用することで自分が住んでいる場所の危険度の確認ができる。</li> <li>2. 高齢者等に判りやすい、最新の「避難情報・警戒レベル」を見直しする。</li> <li>3. 特に危険な場所、役立つ物、場所、避難所、避難場所、二次避難所を記載する。</li> <li>4. 子ども、高齢者等の目線で避難所までの経路を確認し反映する。</li> <li>5. ユボ紙を使用している事で自宅の位置、特記事項等を赤鉛筆等で追加記入できる。</li> </ol>
協働する団体等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の公共施設 東公民館</li> <li>2. 地域の事業所・病院・スーパー・商店等 ながけクリニック、コートー電器、両備ストアー、東岡山自動車教習所、四御神郵便局</li> <li>3. 学校・消防署・警察署 竜之口小学校、竜操中学校、県立東岡山工業高校、県立聾学校、竜操消防署、高島交番</li> </ol>
事業の情報公開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学区連合町内会の幹事会等でマップ作成について各町内会へ情報伝達する。</li> <li>2. 各町内会へマップを配布する。</li> <li>3. 市の主要な施設へマップを配布する。</li> <li>4. マスコミに発表。</li> <li>5. 電子町内会で公開する。</li> </ol>

<p>学区地区への広がり</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災マップから色々な場所で防災に関する話題作りがある。</li> <li>2. 連合町内会を基に各町内会からマップ作製に委員を選出し、また各種団体へも参加を呼びかけ色々な目線から防災意識を高める。</li> <li>3. 新たな委員も加わり学区へ広まりが感じられる。</li> <li>4. 防災訓練には自主的参加者、様々な人々の参加者がある。</li> </ol>
<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度は家庭用マップの修正を行なったが、今年度は携帯用防災マップの修正を行なう。</li> <li>・岡山市発行の最新のハザードマップを活用する。</li> <li>・地域の危険場所、避難時に役立つ物、場所（コンビニ・スーパー・自販機等）を確認、マップへ追記する。</li> <li>・最新の「避難情報・警戒レベル」をマップへ明記する。</li> <li>・特に危険な場所、役立つ場所、避難所、避難場所、二次避難所等の重点場所の写真を記載する。</li> <li>・地域の事業所と連携を図り、災害時に避難場所として新たに活用できる仕組みを進める。</li> </ul>
<p>次年度以降の予定</p>	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>①次年度以後の活動計画</p> <p>学区は住宅開発が頻繁にあり、新築・アパート等の入居者に都度「防災マップ」の配布を考慮しなければならない事の課題。</p> <p>避難時の要配慮者支援等で町内会へ入会されていない世帯、特にアパートの入居者氏名、人数の把握は個人情報に関する問題点、この問題は当学区だけではないと思います。その為学区全世帯の把握は困難な状態です。また、広報活動も同様に入居者の有無の確認すら困難な場合もあります、災害時（避難）の全世帯広報をどの様に活動するか苦慮しています。問題点解決（放送塔設置等）の情報収集等を行っています。</p> <p>②資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■次年度も区づくり推進事業を申請する予定</li> <li>■（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</li> </ul> <p>資金確保の具体的な方策： 各町内会からの徴収を検討中</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 岡山市発行の最新のハザードマップを活用している。</li> <li>2. 携帯型のため常時ランドセル・バック等に入れ所持が出来るため持ち歩く事ができ、「ユボ紙」を使用しているため雨天時でも活用できる。</li> <li>3. ユボ紙は「森林資源の保護」を目的に一般紙に代わる夢の紙として開発された用紙です、軽く水に強く、破れにくい等の特徴があります。また、筆記特性があり、<u>赤鉛筆等でマップに自宅の位置、注意場所、メモ等を追加事項を書き込むことができます。</u></li> </ol>

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	・ 連合町内会幹事会で概要を説明
6月	・ 課題の創出 ・ 申請書作成
7月	・ 学区防犯防火防災協議会で概略説明 ・ 連合町内会幹事会
8月	・ 区づくり審査会 ・ 実行委員会開催
9月	・ 実行委員会開催 ・ 各町内会、避難経路の危険場所、避難時に役立つ物等点検
10月	・ 各町内会、避難経路の危険場所、避難時に役立つ物等のまとめ ・ マップの原稿作成
11月	・ マップの原稿最終確認 ・ 校正
12月	・ 印刷発注
1月	・ 印刷完了 ・ マップを学区民へ配付する。
2月	・ マップを関係の主要な施設へ配付する。 ・ マップを活用した防災訓練（避難訓練）を実施する。 ・ 反省会を行う。
3月	・ 監査 ・ 総会

# 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	147,500	212,500	
実施団体負担金	150,539	192,500	連合町内会負担
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	298,039	405,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	9,079	10,000	インク代
②食糧費	0	0	
③印刷製本費	288,960	375,000	会議資料・マップ印刷代
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	298,039	385,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	/	20,000	アルコール他
小計(②)	/	20,000	
支出合計(①+②)	298,039	405,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

印刷代金の支払い
----------

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。